

## 第2学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時

場 所 2年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

### 1 主題名 相手の立場で「B-(9)相互理解, 寛容」

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

人間が相互に立場を尊重することが、自分の人生にとってどのような価値を持つのかを考えようとする道徳的心情を育てる。

#### (2) 教材名 「なみだ」(東京書籍 新しい道徳2)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、中学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目B-(9)相互理解、寛容の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていくこと」を受けている。

人には、それぞれ自分のものの見方や考え方があり、自分なりの角度や視点から物事を見ることが多い。それぞれのものの見方や考え方にとらわれ、過ちを犯してしまいがちであるが、寛容の心を持てば人を許し受け入れてとがめだてしないで、他者のよい面を積極的に認めようとすることができる。また、自分のものの見方や考え方を広げて確かなものにしていくため、他者に学ぶことが大切であることに気付き、他者の助言や忠告に謙虚に耳を傾けることができるようになる。

中学校生活において多くの人と関わる中で、相互に立場を尊重すること、自分とは立場や考えが異なる他者から謙虚に学んでいくことが、よりよい人間関係を築き、自己を高めていくことにつながると考え、本主題を設定した。

#### (2) 生徒のこれまでの学習状況や実態

本学級には様々な個性を持った生徒がおり、それぞれの思いや考えを素直に表出させながら生活している。活発な生徒が多く、運動会や合唱などの行事への取組など、やると決めたときの勢いとパワーがある。しかし、自分とは違う考え方や立場の人との関わりが苦手で、考えが合わずに衝突したりトラブルに発展したりすることもある。周囲の目を気にしながら行動する傾向がある一方、集団になると気が大きくなり、人に流されて行動してしまう生徒もいる。

生徒はこれまでに、「遠足で学んだこと」の授業において、「個性について正しく理解すること」「誰もが様々な立場に立って個性を発揮することの良さを理解すること」について学習している。これまでの学習内容を踏まえて、本時の授業では「人間が相互に個性や立場を尊重することが、自分の人生にとってどのような価値を持つのかを考えること」まで発展させたい。

さらに、3年生の「心にしみこむ“言葉の力”－池上彰」の授業において扱う「相手や立場が変わっても寛容の心を持ち謙虚に学ぶことが人間としての成長に役立つことを理解すること」につなげたい。

### (3) 使用する教材の特質

本教材は、思いがけない事故で怪我をした主人公が、謝罪に来た加害者とのやりとりの中で加害者側の辛い気持ちや立場を理解することができるようになるまでの姿を描いている。

主人公の「わたし」は、清掃活動中に、一緒に清掃をしていたS君の不注意から指に怪我をしてしまう。病院から帰宅すると、怪我をさせたS君とその母親が謝罪にやって来た。怪我の影響で頭が混乱し、「なみだ」を流して謝罪するS君の母親を「息子の立場を考えて泣いてわびている」と疑ってしまったが、部屋に戻って考えるうちに、自分の考えが自己中心的であったことに気付き、怪我をさせたS君やその母親の苦しい立場を理解し、「なみだ」を流した。怪我をした翌日、周囲やS君に心配を掛けないように、「たいしたことないよ」と明るく振る舞った。数日後、怪我をした日に「わたし」が部屋で「なみだ」を流しているのを見ていた母親から、「あのとき流した『なみだ』はいちばん価値のある『なみだ』だった」と声を掛けられた。

自分のことだけでなく、人それぞれの立場や考えを尊重し、自分とは異なる立場や考えの人も、広い心を持って受け止めることの価値について考えようとする心情を育むことができる教材である。

### (4) 指導観

本時の指導に当たっては、事前に生徒に教材を読ませ、内容を理解させておくことで、授業中の考える時間を確保する。生徒にとって、身近で実際に起こりうる場面を描いた資料であるので、自分との関わりで考えさせることを意識して授業を展開する。

「わたし」が怪我をした翌日に、「たいしたことないよ」と明るく振る舞う場面を中心場面とし、S君の苦しい立場を理解し、寛容の心を持ってS君を思いやれるようになった「わたし」の変化と成長に気付かせたい。実際の学校生活を想起させ、自分との関わりで考えさせるために「自分だったら『たいしたことないよ』と言えますか」のような補助発問を用意し、広い心を持って相手を理解することが自分の成長につながることに深く考えさせたい。

生徒の学習状況を見取るために、ワークシートを活用する。事前アンケートでどのようなときに「なみだ」を流すかを書かせ、展開後半で、本時で考えたことを振り返らせながら比較させることで、考えの深まりを見取りたい。また、中心場面で、「わたし」が抱える様々な思いに気付かせるために、複数の考えを吹き出しに書くことができるようなワークシートを活用し、多面的・多角的に考えさせたい。

生徒の考えを把握するために、座席表を活用する。机間指導を行う際に、複数の価値から多面的・多角的に考えている生徒や、自分のこととして考えている生徒を見取る。

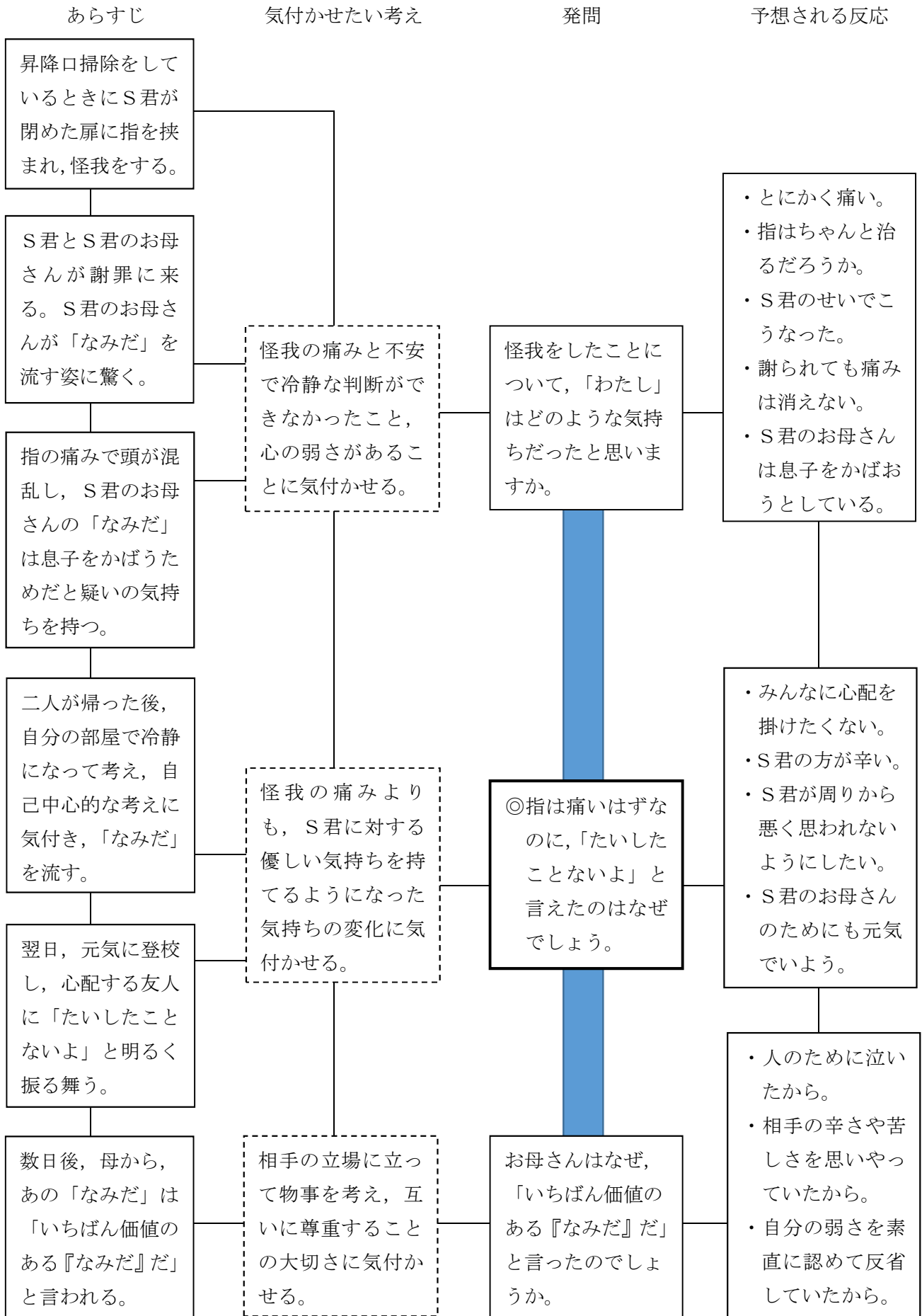
また、ペア学習を取り入れること、意図的指名によって生徒の様々な考えを引き出すことで、友達の考えから多面的・多角的に学ぶことができる場面を意図的に設定したい。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値についての問題意識を持つ。(一斉)</p> <p>2 登場人物とあらすじを理解する。(一斉)</p> <p>3 課題をつかむ。(一斉)</p>	<p>○あなたはどのようなときに「なみだ」を流しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悲しいことがあったとき。</li> <li>・映画などで感動したとき。</li> <li>・試合に負けて悔しいとき。</li> <li>・病気や怪我で痛いとき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果を示し、「なみだ」についてのイメージを共有する。</li> <li>・学校生活の一場面であること、「なみだ」を流す場面が何度か出てくることを押さえる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「なみだ」に対するイメージについてのアンケート結果と、登場人物とあらすじの紹介を通して、本時の課題について、問題意識を持たせる。(問)</p> </div>
	<p>人と関わるときに大切なことについて考えよう。</p>		
展開 35分	<p>4 範読を聞き、「わたし」の気持ちの変化を捉える。(一斉)</p> <p>5 「わたし」の不安な気持ちや心の弱さに気付く。(ペア → 一斉)</p>	<p>○怪我をしたことについて、「わたし」はどのような気持ちだったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく指が痛い。</li> <li>・指がちゃんと治るか不安。</li> <li>・S君のせいでこうなった。</li> <li>・謝ってもらっても痛みは消えない。</li> <li>・S君のお母さんは息子をかばおうとしている。</li> <li>●もし怪我をしたのが自分で、大事な大会の直前だったらどう思いますか。</li> <li>・許せないかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なみだ」を流す場面に注目して聞かせる。</li> <li>・「わたし」の怪我は、手術が必要な大怪我であったことを押さえる。</li> <li>・場面絵を示し、S君が謝罪に来た場面での「わたし」の気持ちを考えさせる。</li> <li>・ペアで話をさせ、怪我の痛みや不安、人を疑う気持ちなど、「わたし」の中にある様々な気持ちを考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>補助発問を通して、相手の立場に立って物事を考え、尊重することの難しさについて自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div>

<p>展開 35分</p>	<p>6 怪我をした翌日に、「たいしたことないよ」と明るく振る舞う「わたし」の気持ちの変化に気付く。 (ペア → 一斉)</p> <p>7 相手の立場に立って物事を考え、尊重することの大切さに気付く。 (ペア → 一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●怪我をさせたS君はどんな気持ちだったでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任を感じてしまう。</li> <li>・怪我をさせた方も辛い。</li> </ul> </li> <li>◎指は痛いはずなのに、「たいしたことないよ」と言えたのはなぜでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに心配を掛けたくないから。</li> <li>・怪我をさせたS君の方が辛い気持ちでいるから。</li> <li>・S君が周りから悪く思われないようにしたいから。</li> <li>・心配してくれたS君のお母さんのためにも元気でいようと思ったから。</li> </ul> </li> <li>●自分だったら「たいしたことないよ」って言えますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言いたいと思う。</li> <li>・言えないかもしれない。</li> <li>・その場にならないと分からない。</li> </ul> </li> <li>●怪我をさせたS君はどんな気持ちだったでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・責められると思っていたから安心した。</li> <li>・「たいしたことないよ」と言っている「わたし」の優しさがうれしかった。</li> </ul> </li> <li>○お母さんはなぜ、「いちばん価値のある『なみだ』だ」と言ったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人のために泣いたから。</li> <li>・相手の辛さや苦しさを思いやったなみだだから。</li> <li>・自分の弱さを素直に認めて反省していたから。</li> </ul> </li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>補助発問を通して、S君の辛い気持ちや立場を考えさせる。(多)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>吹き出し形式のワークシートに書かせることで、「たいしたことないよ」と言えた「わたし」の気持ちを多面的・多角的に考えさせる。(多)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;評価&gt; 相手の立場に立って物事を考え、互いに尊重することについて、多面的・多角的に考えようとしていたか。(多)【ワークシート・発言・観察】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>補助発問を通して、相手の立場に立って物事を考え、尊重することの難しさについて自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>補助発問を通して、S君の立場から「わたし」の行動について考えさせる。(多)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで話をさせ、互いの考えを交流させる。</li> <li>・意図的に指名をして、考えの深まりを引き出す。</li> <li>・導入の場面と比較できるように板書する。</li> <li>・事前アンケートで考えた「なみだ」も意味があるものであることを確認する。</li> </ul>
-------------------	--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● S君のお母さんが流した「なみだ」はどうでしょう。</li> <li>・相手のことを思って泣いているから価値がある。</li> <li>● 「わたし」が「なみだ」を流したのは、相手のことを考えたからだけでしょうか。</li> <li>・ S君のお母さんの「なみだ」を疑ってしまったことへの後悔と反省もある。</li> <li>● 事前アンケートで考えたことと今考えたことを比べてみるとどうですか。</li> <li>・ 事前アンケートの「なみだ」は、自分のための「なみだ」が多いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助発問で、S君のお母さんの「なみだ」の価値について考えさせる。</li> <li>・ 補助発問で、「わたし」が自分の弱さを認め、反省していたことに気付かせる。</li> <li>・ 補助発問で事前アンケートで考えたことと本時で考えたことを比較させ、考えの深まりを感じさせる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">終 末  10 分</p>	<p>8 人間としての生き方について考える。(個人 → 一斉)</p>	<p>○本時を振り返り、「人と関わるときに大切なこと」について考えたことを、これからの学校生活をイメージしながらまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のことだけでなく、相手のことを思って流す「なみだ」もあるのだと思った。</li> <li>・ 自分が辛いときに、相手の気持ちを考えることは簡単にはできないと思うけど、みんなの考えを聞いて、少しは意識したいと思った。</li> <li>・ 誰かが失敗したときに、責めないで気持ちを分かちあってもらえるようにしたい。</li> <li>・ 自分のことだけで考えるのではなく、周りの人の立場や気持ちも考えて行動できるような人になりたい。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ワークシートに書く活動を通して、「人と関わるときに大切なこと」についてこれからの学校生活をイメージして考えさせ、人間としての生き方について考えを深めさせる。</p> <p style="text-align: right;">(自)(生)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt;</p> <p>相手の立場に立って物事を考え、互いに尊重することについて、自分との関わりで考えようとしていたか。 (自)(生)</p> <p>【ワークシート・発言・観察】</p> </div>

(問) 問題意識を持たせる

(多) 多面的・多角的に考えさせる

(自) 自分との関わりで考えさせる

(生) 人間としての生き方について考えさせる

【評価】

<生徒の評価>

・「たいしたことないよ」と言った「わたし」の心情を考えることを通して、相手の立場に立って物事を考え、互いに尊重することについて多面的・多角的に考えようとしていたか。

(多)【ワークシート・発言・観察】

・相手の立場に立って物事を考え、尊重することについて、自分との関わりで考えようとしていたか。

(自)【ワークシート・発言・観察】

<教師側の授業評価>

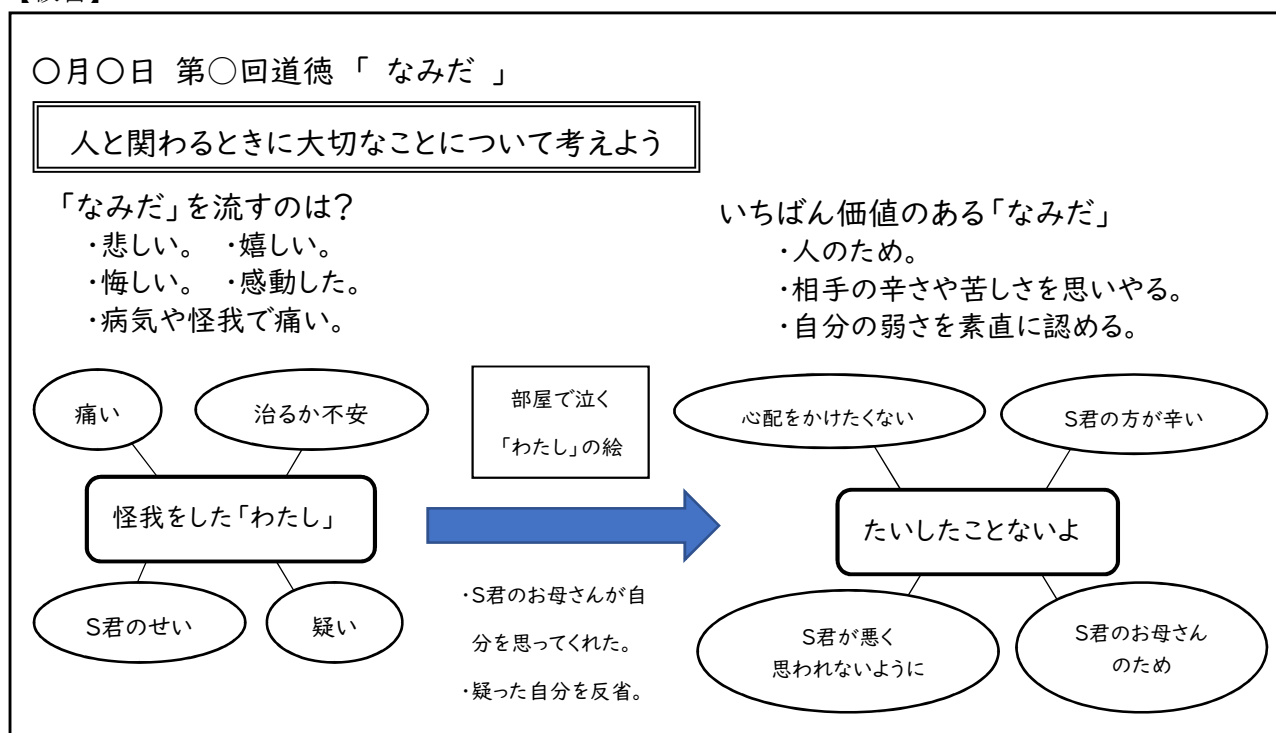
・中心的な発問において、相手の立場に立って物事を考え、尊重することについて、多面的・多角的に考えさせていたか。

(多)【ワークシート・発言・観察】

・補助発問や終末場面の書かせる活動を通して、相手の立場に立って物事を考え、互いに尊重することについて、自分との関わりで考えさせていたか。

(自)【ワークシート・発言・観察】

【板書】



【準備物】

教師：教科書，ワークシート，事前アンケート，場面絵

生徒：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

